

## 保護者の皆様へ

お子様の身体に障害があっても、“他の子と同じように、いろいろな遊び、スポーツ、学習を体験してもらいたい”、親としてごくあたりまえの、自然な「我が子の成長」の願いがあります。

日本肢体不自由児協会、毎日新聞東京社会事業団、NHK厚生文化事業団、は、それぞれの団体の特色をいかして、この願いを実現すべく「雪と遊ぼう：親と子の療育キャンプ」を企画しました。令和7年初春、お子さんと雪山、スキー、ソリ滑りの体験をしてみませんか。

### <雪遊びのできることは？>

- ☆児童のプログラム  
雪合戦・ソリ滑り・  
雪上キャンプファイヤー など
- ☆保護者のプログラム  
スキー教室・療育セミナーなど
- ☆親子でのプログラム  
雪上大運動会 など



### <キャンプ生活は？>

- ・キャンプ期間中は、お子様と保護者の方の宿舎は別となり、プログラム活動も基本的に別となります
- ・お子様の移動・食事・入浴等の生活面、雪上プログラム等のお手伝いは、研修を重ねたキャンプボランティアが担当します
- ・必要に応じて家庭訪問をさせていただく場合があります
- ・キャンプには健康管理のため医療スタッフも同行します

## 参加者の声♪ ～ WHC 思い出文集より抜粋 ～



私が冬キャンプで思い出に残ったことは、山頂からすべったことと、雪上プログラムです。

山頂からすべった時は、速さがでていてスリル満んで、風が気持ち良くて、とても楽しかったです。

雪上プログラムでは、雪だるまを何だん積みあげられるかをグループ対抗でしました。私のグループは順ちようでした。見た目も良くできました。そして題名は「浦佐のしゃとう」です。むかえた結果発表結果は…1位でした。とてもうれしかったです。

参加児童：小5女兒

息子は生まれて初めての雪山体験！

それも最初の数回は固まっていたのですが、すぐに笑顔になり、滑り終わると拍手で『もう1回』をアピールしていました。

1泊目、睡眠1時間でももりもり食べ、遊び、ひと回りもふた回りも大きくなった（体重も）気がします。

母も久しぶりの雪景色に心洗われ、大いに笑って食べてリフレッシュ。心新たに新年をスタートすることができました。

これも、スタッフやリーダーさん、関わってくださった皆さんの入念な準備と支えがあつてのことと、深く感謝申し上げます。

参加保護者

